

# ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

令和8年度予算額（案） 12億円  
（前年度予算額） 11億円



文部科学省

## 背景・課題

- 人口減少局面にある我が国において、研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくためには、女性研究者の活躍促進が重要であるが、女性研究者割合を諸外国と比較すると依然として低い水準にあり、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況。
- そのため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、上位職登用の促進が必要。

### 【経済財政運営と改革の基本方針2025（令和7年6月13日閣議決定）抜粋】

AI、IT分野を始め理工系分野の大学・高専生、教員等に占める女性割合の向上に向け、最先端の科学技術を学ぶ機会や理工系の女性ロールモデルに触れる機会を早い段階から継続的に提供するなど、女子中高生の関心を醸成し、意欲・能力を伸長するための産学官・地域一体となった取組及び大学上位職への女性登用を促進する。

### 【統合イノベーション戦略2025（令和7年6月6日閣議決定）抜粋】

研究及び研究環境における多様性向上の観点から、ジェンダーギャップ解消等を通じた女性研究者の活躍を加速させていく。研究と出産・育児等のライフイベントを両立できる環境の整備や研究環境のダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援するなど、第6期基本計画や「第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）」に基づく取組を進めるとともに、指導的立場も含めた女性研究者の更なる活躍を促進する。

### 【第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）抜粋】

【科学技術・イノベーション政策において目指す主要な数値目標】大学教員のうち、教授等（学長、副学長、教授）に占める女性割合：早期に20%、2025年度までに23%（2020年度時点、17.7%）

## 事業概要

### 事業の目的・目標

- 研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する（H27年度より開始）

### ダイバーシティ実現に向けた取組の支援

- 対象機関：国公立大学、国立研究開発法人等

#### <女性リーダー育成型>

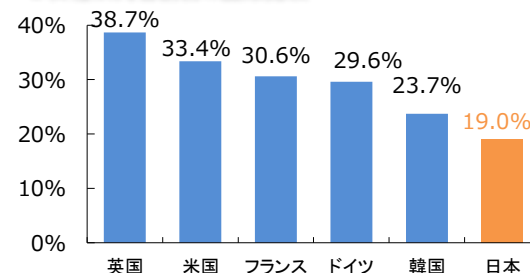
- 支援取組：教授・准教授等の上位職への女性研究者の登用を推進するため、挑戦的・野心的な数値目標を掲げる大学等の優れた取組を支援
- 補助事業期間：6年間（うち補助期間5年間）
- 支援金額：上限70百万円程度（一部、53百万円程度）／年・件

- 新規採択件数：1件程度

（そのほか、先端型、特性対応型も含め令和3年度以降に採択した24件を継続実施）

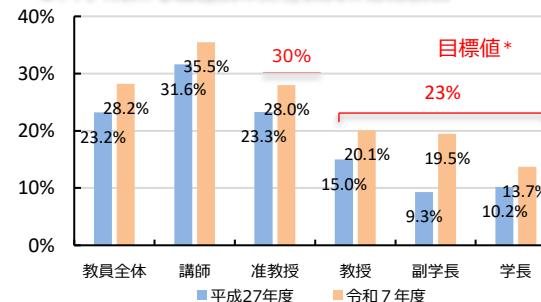
- ※先端型：従前の取組は自主的に行われていることを前提として更に高い目標を掲げるとともに、より広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組を支援
- ※特性対応型：分野や機関の研究特性や課題等について分析した結果を踏まえた目標を掲げ、研究効率の向上を図りつつ、女性研究者の活躍を促進する取組を支援

### ■女性研究者割合の国際比較



※英国：2017年、フランス：2023年、ドイツ：2023年、韓国：2023年、OECD *Main Science and Technology Indicators*  
米国：2021年、NSF *Science and Engineering Indicators*  
日本：2024年、総務省「2025年（令和7年）科学技術研究調査報告」を基に文部科学省作成

### ■大学における職位別の女性教員の在籍割合



※「学校基本調査」より作成

\*第6次男女共同参画基本計画における成果目標

担当：科学技術・学術政策局人材政策課